



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 女性限定の採用予定者説明会を開催～春の入隊に向けて～



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 陸佐）は1月22日、宇都宮地方合同庁舎において女性限定の採用予定者説明会を実施した。

これは女性の採用予定者が安心して入隊できるよう企画したものであり、質問しやすい雰囲気を作るため、受付等の一部を除き、会場内の運営を女性のみで行った。参加者数は採用予定者及びその家族をあわせて約40名となり、昨年度実施時の約2倍を数えた。



当日はまず、募集課 鈴木1曹が全般説明を行い、自衛隊の女性活躍に向けた取り組みや福利厚生などを自身の経験を交えて紹介した。その後、陸・海・空の志望別に部屋を分け、実際の入隊先にあたるそれぞれの教育隊の班長等が講師となり、入隊式から各種訓練を経て卒業式に至るまでの流れや自衛隊での勤務経験等を説明した。

女性自衛官教育隊（陸・朝霞）の本宿2尉と小山2曹は入隊前の心構えとして「周囲に対する感謝の気持ちを持つこと」等を伝えていた。

横須賀教育隊（海・武山）の梶原2曹と鶴田3曹はこれまでの勤務で印象に残った出来事として、出航した際に世界各国の寄港地を訪問したことや東京オリンピックの国旗掲揚に携わったことなどを紹介し、海上自衛隊の魅力に触れていた。



航空教育隊第2航空教育群（空・熊谷）の藤本3曹と小川士長は「最初は不安に感じることもあるかもしれないが、それは皆同じなので、教育期間の3か月を一緒に乗り越えていこう」と励ましの言葉を掛けていた。

質疑応答の場面では、入隊時の携行品や身だしなみ、結婚・出産した際の配置についてなど、男性の広報官等には聞きづらいと思われる質問が多く出ていたが、各教育隊の講師は女性の立場を踏まえて丁寧に応じていた。終始和やかな雰囲気で行われ、参加者からは「来て良かった」等の感想が聞かれた。

栃木地本は「今後も採用予定者のフォローアップを実施して、入隊に対する不安を少しでも解消していく」としている。